

福島地方環境事務所の最近の動き
(今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です

○ 中間貯蔵施設関連

- ・平成 31 年 1 月末時点で約 1,091ha の用地取得の契約をいただきました

< 除去土壌等の輸送の進捗状況 (2/5 時点) >

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 145.2 万 m ³	約 80.7%
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 223.8 万 m ³	約 16.0%

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・自治体職員や相談員等の活動の支援、住民の放射線に関する理解醸成の支援、環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です
- ・環境再生プラザでは「くるまざカフェ ふくしま“みち”さがし 2019」を実施します（参加者募集中）(2/23)

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域において、各町村の策定した計画に基づき、家屋等の解体・除染を実施しています。

○ 最近の動き

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です。

詳細は別添 1、3 のとおり

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3 月に 8 県 100 市町村のすべてで面的除染が完了し、必要なフォローアップ等を実施しています。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施しています。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管しています。搬出が終わった仮置場については、順次、早期の解消を目指し原状回復を実施しているところです。

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況（除染特別地域、汚染廃棄物対策地域）
別添 1 のとおり
- 仮設焼却施設における処理状況
別添 4 のとおり
- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添 5 のとおり

II. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施しています。

（1）最近の動き

- 平成 31 年 1 月末時点で約 1,091ha の用地取得の契約をいただきました。
- 除去土壌等の輸送の進捗状況（2/5 時点）

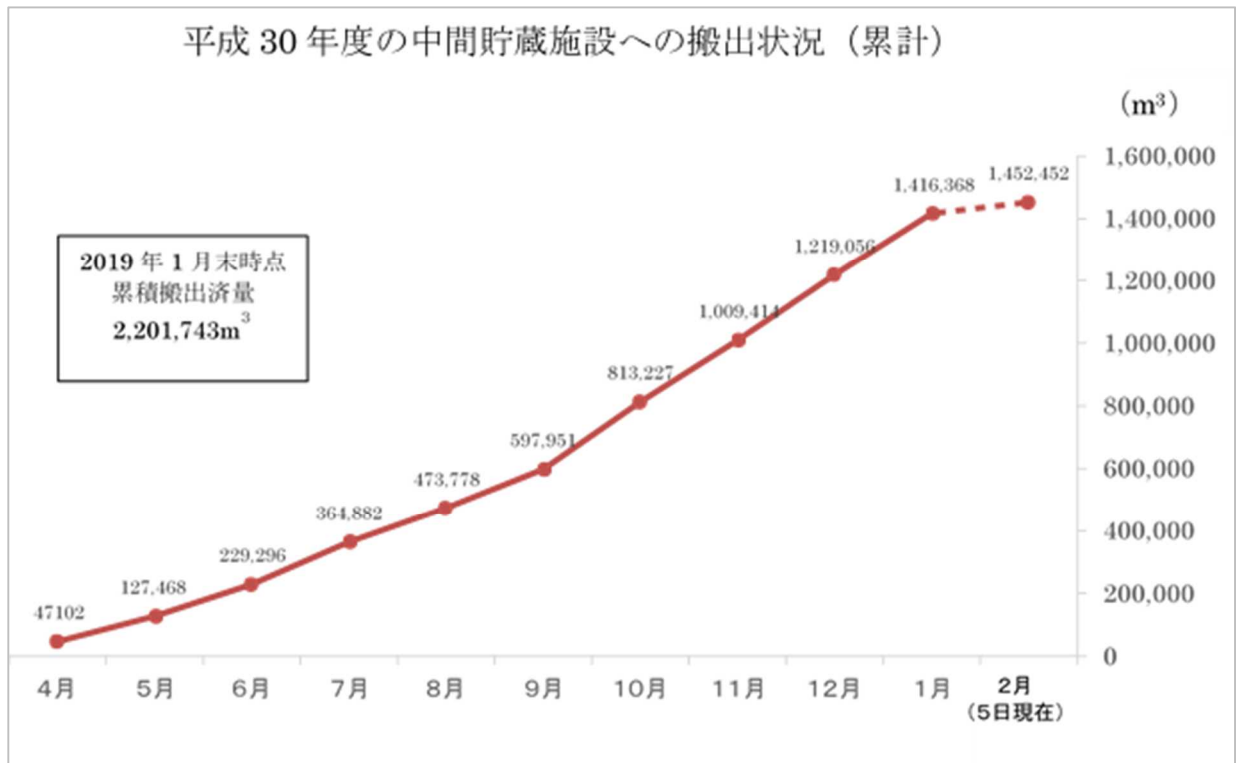
今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 145.2 万 m ³	約 80.7%
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 223.8 万 m ³	約 16.0%

(2) 平成 30 年度の進捗状況

○ 除去土壌等の輸送

(2 月 5 日までの搬出実績)

搬出市町村		今年度の 搬出可能量 (m ³)	今年度の 学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	今年度の 搬出済量(m ³)	累積 搬出済量 (m ³)
浜通り	いわき市	22,200	7,800	25,744	48,166
	相馬市	16,100	－	4,410	21,356
	南相馬市	113,200	－	83,839	113,564
	広野町	31,900	－	24,210	35,251
	檜葉町	72,400	－	70,056	109,778
	富岡町	162,400	－	130,473	173,922
	川内村	42,400	－	43,912	58,531
	大熊町	147,000	－	103,077	156,049
	双葉町	132,700	－	75,892	122,840
	浪江町	130,300	－	85,771	122,434
	葛尾村	71,400	－	70,139	86,668
	飯舘村	151,600	－	133,207	161,504
中通り	福島市	78,700	20,000	60,380	85,294
	郡山市	67,200	20,900	108,380	171,748
	白河市	33,800	100	36,247	60,808
	須賀川市	22,000	3,600	23,515	38,440
	二本松市	50,000	－	46,863	90,644
	田村市	47,800	300	45,573	74,648
	伊達市	62,600	6,000	52,727	73,669
	本宮市	20,600	－	19,285	42,570
	桑折町	19,200	－	12,852	29,533
	国見町	16,300	－	13,982	25,346
	川俣町	71,600	－	53,118	75,434
	大玉村	13,700	－	13,125	22,390
	鏡石町	0	300	323	7,980
	天栄村	16,100	－	13,230	22,939
	西郷村	54,900	－	52,478	73,567
	泉崎村	15,200	－	14,337	24,768
	中島村	6,400	－	5,845	14,150
	矢吹町	13,900	－	9,347	18,953
	三春町	24,400	－	20,115	37,733
合計		1,728,000	59,000	1,452,452	2,237,827※



- ※ フレキシブルコンテナ等 1 袋の体積を 1 m³と換算しています。
- ※ 中間貯蔵施設への搬出済量（国直轄除染市町村：2018 年 8 月末、市町村除染市町村：2018 年 6 月末時点、両者混在市町村（南相馬市、川内村、田村市、川俣町）：2018 年 8 月末）及び輸送待機量（焼却前の可燃物を含む仮置場等で保管している量（国直轄除染：2018 年 8 月末時点、市町村除染：2018 年 6 月末時点）及び仮設焼却施設等で減容化し保管されている量（国直轄除染：2018 年 8 月末時点、市町村除染：2018 年 6 月末時点））の合計量。
- ※ 10 万Bq/kg超の廃棄物、その他現時点で定量的な推計が困難な帰還困難区域の除染等で発生した（発生することが見込まれる）除去土壌等は含まれていません。
- ※ 累積搬出済量の合計値には、2018 年 6 月末時点で搬出が完了している市町村の搬出量が含まれているため、記載されている市町村の累積搬出済量の合計とは数字が一致しません。

- 中間貯蔵施設区域内の用地取得について
平成 31 年 1 月末時点の用地の状況は、別添 6 のとおり
※別添 6 に関するお問合せは、環境省環境再生施設整備担当参事官室 細川、信原
電話 03-5521-8349 まで
- 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等
こちらから御確認ください（中間貯蔵施設及び周辺モニタリング（JESCO サイト）
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>
- 中間貯蔵施設に係る工事等について
工事等の一覧は別添 2 のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

- ① 自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です。

(1) 最近の動き

- 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）・移動展示等を実施中です。
- 放射線を可視化するガンマカメラを活用した、住民向けリスクコミュニケーション支援事業を実施中です。
- 研修会への専門家派遣等、住民向けリスクコミュニケーション支援事業を実施中です。
- 震災後の福島で暮らす皆さんの不安や悩みになすびさんがお答えする「なすびのギモン パート6」（第1回・第2回）が放送されました。

※放送された動画は、環境再生プラザのホームページでご覧いただけます。

<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/movie/>

（今後の放送予定）

第3回：平成31年3月5日（火）

第4回：平成31年3月12日（火）

- 環境再生プラザでは「くるまざカフェ ふくしま“みち”さがし 2019」開催します。参加者を募集中です（別添7のとおり）。

本イベントは、昨年10月および11月に実施した浜通り地方を訪ねる「ふくしま“みち”さがし」体験プログラムを通して感じた気付きを共有するトークセッションと来場されたみなさまと一緒に『未来に向かって、今できることは何か？』を考えるワークショップの2部構成となっています。

・日 時：2月23日（土）13:00～16:30

・場 所：コラッセふくしま4F多目的ホール（福島市三河南町1番20号）

http://josen.env.go.jp/plaza/about/communication/kurumaza/recruitment_190223/

(2) これまでの実施状況

（2月8日時点）

項 目		実施回数	
		H29年度	今年度
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	（ア）職員向け研修会	77回	34回
	（イ）専門家派遣	47回	18回
②住民の放射線に関する理解醸成の支援	（ア）住民セミナー	72回	37回
	（イ）車座意見交換会	62回	52回
	（ウ）個人線量測定の支援(WBC)	83日	79日

	(エ) リスクコミュニケーション拠点（長崎大、弘前大）による活動		
	(オ) ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業	184 台・日	165 台・日
③環境再生等に関する情報発信（環境再生プラザ）	(ア) 専門家派遣	142 件	137 件
	(イ) 移動展示	42 件 [55 日]	39 件 [55 日]

除染事業及び被災家屋等の解体等の工事一覧
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事名
南相馬市	○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/2/13～) ※H30. 3 月に着工 ○平成 30 年度南相馬市仮置場復旧等工事 (H31/1/23～) ※着工準備中 ○平成 30 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H30/8/8～) ※H30. 9 月に着工
浪江町	○平成 30 年度浪江町仮置場復旧等工事 (H30/5/15～) ※H30. 7 月に着工 <u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/6/20～)</u> ※H30. 8 月に着工 <u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H31/1/29～)</u> ※着工準備中 ○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/1/25～) ※H30. 3 月に着工 ○平成 30 年度浪江町被災建物等解体撤去工事 (H30/4/11～) ※H30. 6 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請 (特定復興再生拠点区域) を受付中
双葉町	<u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/4～)</u> ※H29. 12 月に着工 <u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/1/10～)</u> ※H30. 2 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請を受付中
大熊町	○平成 30 年度 (平成 29 年度繰越) 大熊町仮置場復旧等工事 (H30/7/19～) ※H30. 8 月に着工 <u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/1/25～)</u> ※H30. 3 月に着工 <u>○平成 30 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H31/1/24～)</u> ※着工準備中 ○被災家屋等の解体撤去申請を受付中

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

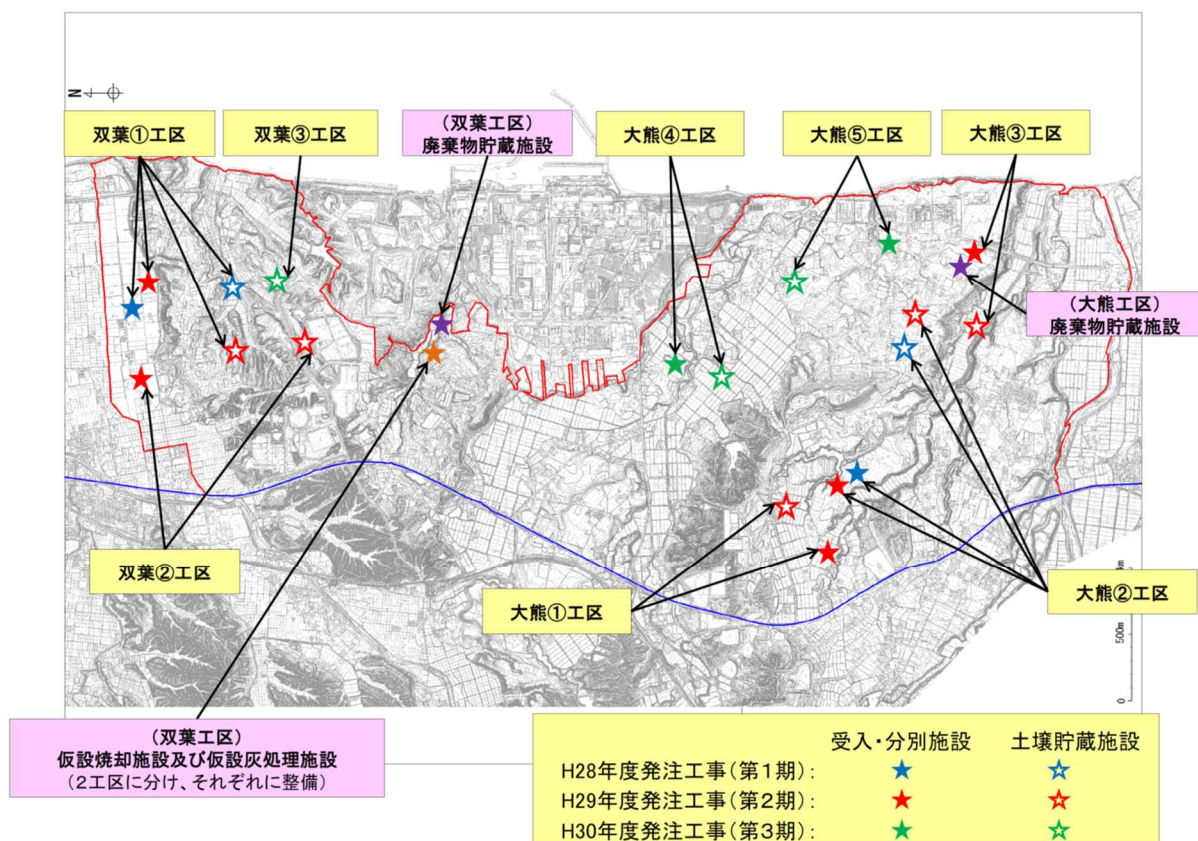
市町村	工事名
富岡町	○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/5/22～) ※H29. 6 月に着工 ○平成 30 年度富岡町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び <u>除染等工事(その 1)(H30/8/7～)</u> ※H30. 8 月に着工 ○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その 2)(H29/12/27～) ※H30. 3 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中
檜葉町	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)檜葉町仮置場復旧等工事(H30/7/5～) ※H30. 8 月に着工 ○平成 30 年度檜葉町建物解体等撤去工事(H30/7/9～) ※H30. 7 月に着工
飯舘村	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)飯舘村仮置場復旧等工事(H30/4/10～) ※H30. 4 月に着工 ○平成 30 年度飯舘村特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び <u>除染等工事(H30/9/5～)</u> ※H30. 9 月に着工 ○平成 30 年度飯舘村建物解体等撤去工事(H30/4/13～) ※H30. 6 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付終了
川俣町	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)川俣町仮置場復旧等工事(H30/6/29～) ※H30. 6 月に着工
葛尾村	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)葛尾村仮置場復旧等工事(その 2) (H30/6/20～) ※H30. 7 月に着工 ○平成 30 年度葛尾村汚染廃棄物対策地域における被災建物等解体撤去 等及び除染等工事(H30/10/9～) ※H30. 11 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（双葉町）（H28/6/14～） ※H28.11 月に着工、H29.12 月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（大熊町）（H28/6/14～） ※H28.11 月に着工、H29.10 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.10 月に着工、H30.9 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H30.1 月に着工、来年度春に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.11 月に着工、H30.7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.9 月に着工、H30.7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H29.11 月に着工、H30.10 月貯蔵開始
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/6～） ※H30.9 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 4 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/5～） ※H30.12 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 5 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/10～） ※H30.10 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事（双葉町）（H31/1/10～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事（大熊町）（H31/1/10～）
廃棄物関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 1 業務（H30/3/1～） ※H31.1 月に着工、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 2 業務（H30/3/1～） ※H31.1 月に着工、H31 年度内に稼働予定

	工事名
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/9～） ※H30.6 月に着工、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/8～） ※H30.7 月に着工、H31 年度内に稼働予定
その他 施設等	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内他道路工事（H30/7/19～）
	○平成 30 年度焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町）（H30/8/24～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内家屋等解体工事（大熊町・双葉町） （H30/10/25～）
	○平成 30 年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （H30/12/22～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域境界植栽工事（双葉町）（H31/1/17～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域境界植栽工事（大熊町）（H31/1/17～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設に係る除去土壌等輸送工事（双葉町） （H31/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設に係る除去土壌等輸送工事（大熊町） （H31/1/19～）

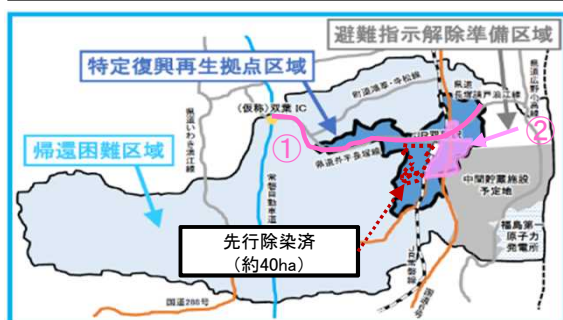


特定復興再生拠点区域整備の状況 (2019年2月8日時点)

別添 3

- 福島復興再生特別措置法の改正(H29.5)により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。
- 市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備（除染やインフラ等の整備）に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進（計画認定から5年を目途に避難指示解除を目指す）。
- これまでに、以下6町村の計画が認定され、全ての町村において解体・除染等工事を実施中。

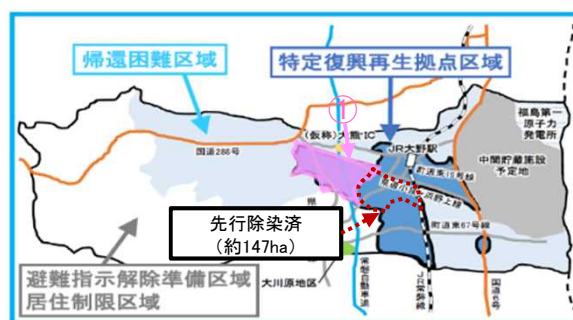
双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



【工事状況】: 2017.12.25着工

- ①復興シンボル軸解体・除染等工事
(解体55件、除染約7ha): 実施中
- ②駅東等解体・除染等工事
(解体640件、除染約90ha): 実施中

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



【工事状況】: 2018.3.9着工

- ①下野上地区の西エリアを中心とした解体・除染等工事
(解体460件、除染約160ha): 実施中

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



【工事状況】: 2018.5.30着工

- ①一部道路の除染等工事(除染約4ha): 完了
- ②3地区における解体・除染等工事
(解体60件、除染約30ha): 実施中

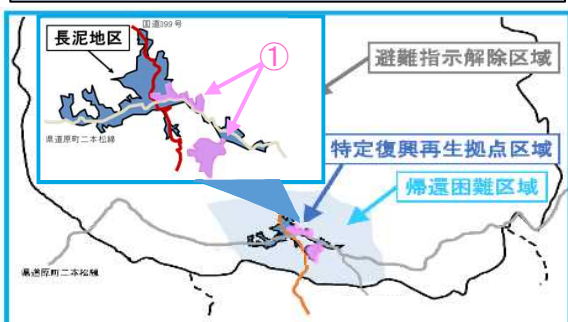
富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



【工事状況】: 2018.7.6着工

- ①夜ノ森駅周辺の除染等工事(除染約0.3ha): 完了
- ②拠点北エリアの解体・除染等工事
(解体300件、除染約80ha): 実施中

飯舘村(2018.4.20認定、約190ha)



【工事状況】: 2018.9.28着工

- ①長泥地区の居住促進ゾーンを中心とした解体・除染等工事
(解体20件、除染約30ha): 実施中

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



【工事状況】: 2018.11.20着工

- ①野行地区の解体・除染等工事
(解体10件、除染約0.5ha): 実施中

仮設焼却施設における処理状況

平成 31 年 2 月 8 日

立地地区	進捗状況	処理能力	処理済量 (除染廃棄物/災害廃棄物) (平成 30 年 12 月末時点)	排ガス中の 放射性物質 濃度	
川内村	処理完了	7 t / 日	約 2,000 トン (0 トン/約 2,000 トン)	—	
飯舘村 (小宮地区)	処理完了	5 t / 日	約 2,900 トン (0 トン/約 2,900 トン)	—	
富岡町	処理完了	500 t / 日	約 155,000 トン (約 100,000 トン/約 55,000 トン)	1 号炉 —	2 号炉 —
南相馬市	稼働中(平成 27 年 4 月より)	400 t / 日	約 204,000 トン (約 115,000 トン/約 89,000 トン)	1 号炉 N. D.	2 号炉 N. D.
葛尾村	稼働中(平成 27 年 4 月より)	200 t / 日	約 107,000 トン (約 76,000 トン/約 31,000 トン)	N. D.	
浪江町	稼働中(平成 27 年 5 月より)	300 t / 日	約 184,000 トン (約 73,000 トン/約 111,000 トン)	N. D.	
飯舘村 (蔵平地区)	稼働中(平成 28 年 1 月より)	240 t / 日	約 139,000 トン (約 100,000 トン/約 39,000 トン)	1 号炉 N. D.	2 号炉 N. D.
檜葉町	稼働中(平成 28 年 11 月より)	200 t / 日	約 77,000 トン (約 46,000 トン/約 31,000 トン)	N. D.	
大熊町	稼働中(平成 29 年 12 月より)	200 t / 日	約 32,000 トン (約 24,000 トン/約 8,000 トン)	N. D.	
双葉町	建設工事準備 中	300 t / 日	—	1 号炉 —	2 号炉 —

※排ガス中の放射性物質濃度は直近の結果を記載。N. D. とは検出下限値未満（廃棄物関係ガイドラインに定める検出下限値（2Bq/m³）以下）であることを示している。

特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成 31 年 2 月 8 日

【最新の進捗状況】

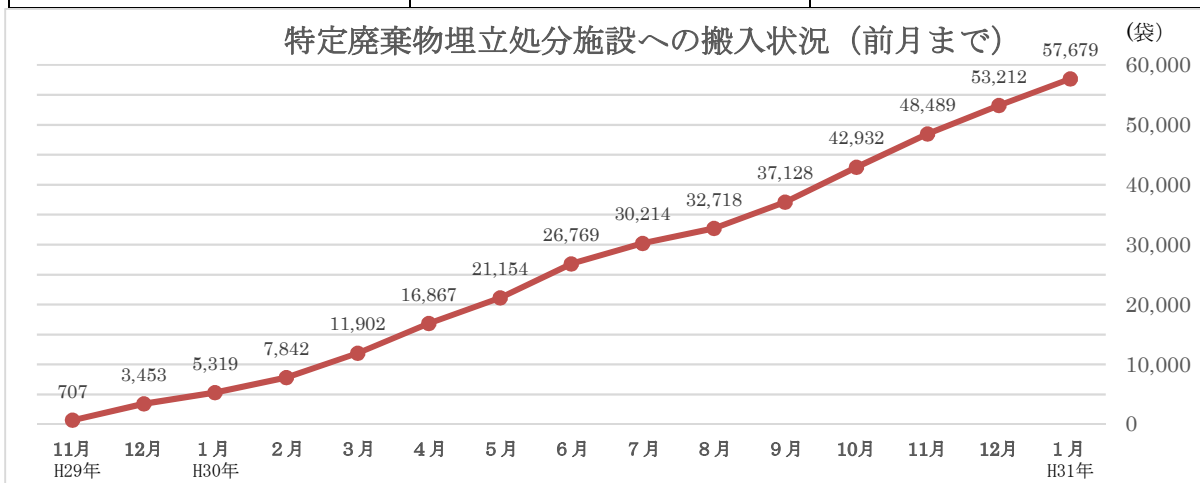
搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
1 / 30 ~ 2 / 5	900	58,046

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成 29 年 11 月 ~ 平成 30 年 1 月	5,319	5,319
平成 30 年 2 月	2,523	7,842
平成 30 年 3 月	4,060	11,902
平成 30 年 4 月	4,965	16,867
平成 30 年 5 月	4,287	21,154
平成 30 年 6 月	5,615	26,769
平成 30 年 7 月	3,445	30,214
平成 30 年 8 月	2,504	32,718
平成 30 年 9 月	4,410	37,128
平成 30 年 10 月	5,804	42,932
平成 30 年 11 月	5,557	48,489
平成 30 年 12 月	4,723	53,212
平成 31 年 1 月	4,467	57,679
平成 31 年 2 月（5 日まで）	367	58,046



搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/

中間貯蔵施設用地の状況について

平成31年1月末時点

別添 6

全体面積 約1,600ha	項 目	全体面積に対する 面積と割合	全体登記記録人数 (2,360人※1)に対する 人数と割合
	地権者連絡先把握済み	約1,550ha ※1 96.9%	約1,940人 ※1 82.2%
民有地 約1,270ha (約79%)	契約済	うち民有地 約1,052ha	1,664人 ※2 70.5% 〔連絡先把握済みの1,940人に 対する割合は、85.8%〕
		計 約1,091ha (68.2%)	
		＜参考＞ 約1,382ha (86.4%)	
公有地 約330ha (約21%)		うち公有地 約39ha	
	その他の公有地 次を含む。 ①道路・水路等のように今後も元々の機能を維持する町有地、県有地、国有地等 ②事業の進展を踏まえつつ、必要に応じて、中間貯蔵施設用地としての提供・契約を調整する町有地、県有地、国有地等	約291ha (18.2%)	※1 国、地方公共団体を含む。 ※2 民有地1,662人、公有地2人。 (注)端数処理の関係により合計が一致しない場合がある。

- 15 -

※1 国、地方公共団体を含む。
※2 民有地1,662人、公有地2人。

(注) 端数処理の関係により合計が一致しない場合がある。

【地権者】

土地所有者・建物所有者

登記記録 2, 360人 ※1

連絡先を把握している地権者 現在の把握数 約1, 940人

- 連絡先を把握している地権者の所有地の面積の合計は、約1, 550ha
(うち、公有地(国、県、町等の所有地、無地番地)等の面積は、約330ha)となっている。
全体面積(約1, 600ha)に対して、約97%となっている。

- ・建物等の物件調査について個別訪問し協力要請。※2
- ・調査の承諾を得た後に現地調査を実施。※3
- ・物件調査結果に基づく補償金額を算定。

- ・補償内容を丁寧に説明。
- ・補償額を提示。

契 約 実 績

●契約面積 約1, 091ha

●契約件数 1, 664件 ※4

連絡先を把握できない地権者

約420人

(内訳)

- ・死亡が確認できている方 約390人
- ・登記記録の所有者の記載が
氏名のみや、登記名義人が
戸籍に該当しない方 約30人

- 連絡先を把握できない地権者の所有地の面積は、約50ha 全体面積(約1, 600ha)に対して、約3%となっている。

戸籍、住民票情報等により、
連絡先の調査・確認

※1 相続の発生等により、今後地権者数は増減あり。

※2 個別訪問している方等: 約1, 920人。

※3 建物等の物件調査の承諾を得ている件数: 約1, 690件。

※4 うち地上権設定: 139件。

(注) 数値については概数であるため、合計と一致しない場合がある。

参加者
募集中!

くるまざカフェ
ふくしま
みちさがし
2019

いま、そして未来へ、何ができるのか？
みんなで一緒に考えてみませんか

震災からまもなく8年が経過する福島。様々な地域・分野で一步步日常を取り戻す取り組みがなされています。
「ふくしま“みち”さがし」では、その地を訪れてきました。今回は、浜通りの浪江、富岡、楢葉の“みち”を探しました。
そこでの気づきを多くの方と共有し、これから進んでいく“みち”をみんなで考えていきます。
みんなで考えるイベントは、2015年から毎年実施しており今年で5回目になります。皆様のご参加をお待ちしています。
* “みち”とは、これまで知らなかったことの“未知”と、これからの福島の“道”の意味。くるまざカフェ企画は2013年よりはじまり、くる、まざる等の意味が込められています。

参加
無料

日時：2019年2月23日(土) 13:00～16:30 (開場12:30)
会場：コラッセふくしま 4F多目的ホール (福島県福島市三河南町1番20号)

プログラム 第一部 トークセッション

昨年の10月と11月に開催されたふくしま“みち”さがし体験プログラムを通して、
現地を巡り感じた気づきをみなさまと共有します。

テーマ① 「避難指示解除後の暮らしを知る」



ファシリテーター：
越智 小枝 さん
(東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座 講師)
スピーカー：
岡 洋子 さん(OCAFE) 石井 絹江 さん(石井農園) etc.

テーマ② 「地域産業の再生の可能性を考える」



ファシリテーター：
開沼 博 さん
(立命館大学 衣笠総合研究機構 准教授)
スピーカー：
佐々木 邦浩 さん(富岡町役場)
遠藤 秀文 さん(株式会社ふたば) etc.

プログラム 第二部 ワークショップ

4つのブースに分かれ、来場者のみなさまと一緒に、
「未来に向かって、今できることは何か？」を考えます。

お申込み (事前申込制)

お申込み先：環境再生プラザ(福島県・環境省共同運営)
TEL 024-529-5668
Mail josen-plaza@env.go.jp
◎お名前、お住まいの市町村、年齢をお知らせください。

詳細は、くるまざカフェ

検索

主催：環境再生プラザ(福島県・環境省共同運営)
後援(予定)：福島民報社・福島民友新聞社・福島テレビ・福島中央テレビ・
福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしまFM